

30年6月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成30年 6月1日～ 30年6月10日

2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は13社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/6月	7月	8月
入荷動向	スギ	△ 25.0	△ 37.5	△ 18.8
	ヒノキ	△ 20.0	△ 50.0	△ 30.0
	カラマツ	0.0	50.0	50.0
	トドマツ	△ 50.0	25.0	0.0
消費動向	スギ	△ 7.1	0.0	7.1
	ヒノキ	12.5	0.0	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 25.0	25.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 28.6	△ 14.3	△ 7.1
	ヒノキ	△ 30.0	△ 30.0	△ 30.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	△ 25.0	0.0	0.0

・スギ、ヒノキ製材用原木の入荷動向は3カ月連続減少。カラマツは6月の横ばいから7月、8月は増加に。トドマツは6月の減少から7月は増加、8月は横ばいに。

・スギの消費動向は6月の減少から7月は横ばい、8月は増加に。ヒノキは6月の増加から7月、8月は横ばいに。カラマツは3カ月連続横ばい推移。トドマツは6月の減少から7月は増加、8月は横ばいに。

・スギの在庫動向は3カ月連続減少。ヒノキは3カ月連続横ばい推移。カラマツは3カ月連続増加。トドマツは6月の減少から7月、8月は横ばいに。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	30/6月	7月	8月
スギ	△ 14.3	0.0	7.1
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	△ 25.0	0.0	0.0
トドマツ	0.0	0.0	△ 16.7

・製材用原木の価格動向はスギ保合。
・ヒノキは横ばい。
・カラマツ、トドマツとも保合。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・カラマツは6月から入荷が多少増加。8月までは一定量入荷増見込み。トドマツは7月から国有林材主体に入荷（北海道）。
- ・6月は民間の造材少ない。7月より国有林システム販売分が納材開始予定。在庫に合わせて消費。原木在庫に合わせた生産をしている。長さアイテムにより不足あり（北海道）。
- ・伐採時期としては虫材の心配もあり、出材は減少傾向（東北）。
- ・仕入を抑えて在庫を減らしている。製材量はほぼ横ばい。冬木在庫を減らしている（中部）。
- ・6月は順調にヒノキ入荷。7、8月は例年通り減る見込み。6月より増産、7、8月は横ばい。6月から8月にかけて在庫を減らす（中国）。
- ・梅雨の長雨が続けば入荷を減らす見込み。工場稼働に変更はなし。6月前半は空梅雨のため入荷多く在庫やや増（中国）。
- ・今のところ梅雨の影響は少ない。原木市場によって温度差あり（九州）。
- ・残業1時間でフル稼働中（九州）。消費が順調なため、在庫減少気味（九州）。

(原木価格)

- ・昨年度より仕入1,000円/m³UP。仕入先に値上げ浸透（北海道）。
- ・スギ・ヒノキとも原木価格はあまり変わってない（中部）。
- ・ヒノキ価格は6月横ばい、7、8月と上昇する見込み（中国）。
- ・スギ・ヒノキ丸太とも大きな変動なし（中国）。

30年6月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/6月	7月	8月
生産動向	スギ	6.3	6.3	7.1
	ヒノキ	0.0	10.0	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 25.0	25.0	0.0
出荷動向	スギ	△ 12.5	6.3	6.3
	ヒノキ	△ 10.0	10.0	△ 10.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	25.0	0.0
在庫動向	スギ	0.0	△ 6.3	0.0
	ヒノキ	25.0	12.5	12.5
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ製材品の生産動向は3カ月連続増加。ヒノキは6月の横ばいから7月は増加、8月は再び横ばいに。カラマツは3カ月連続横ばい推移。トドマツは6月の減少から7月は増加、8月は横ばいに。

・スギ製材品の出荷動向は6月の減少から7月、8月は増加に。ヒノキは6月の減少から7月は増加、8月は再び減少に。カラマツは3カ月連続横ばい推移。トドマツは6月の横ばいから7月は増加、8月は再び横ばいに。

・スギ製材品の在庫動向は6月の横ばいから7月は減少、8月は再び横ばいに。ヒノキは3カ月連続増加。カラマツは3カ月連続横ばい推移。カラマツ、トドマツとも3カ月連続横ばい推移。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		30/6月	7月	8月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	14.3	0.0	0.0
	間柱	△ 6.3	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	16.7	0.0	0.0
	ラミナ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	0.0	10.0	10.0
	土台角 12×4	0.0	10.0	10.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	ラミナ	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	0.0	0.0	0.0	
〃 ラミナ	0.0	0.0	0.0	
トドマツサンギ	0.0	0.0	50.0	

・製材品の出荷価格動向は、スギKDは弱含み。

・ヒノキは土台角がやや強含み。その他の品目は横ばい。

・カラマツ梱包仕組み板、カラマツラミナは横ばい。

・トドマツサンギは強含み。

モニターからのコメント

(製材品荷動)

- ・製材品の受注は堅調に推移しており、9月ごろまでは見えている。在庫は使用量に対し若干の増加で推移する見込み（北海道）。
- ・原木在庫に合わせて生産。既存先への安定供給を優先。生産即出荷の状態（北海道）。
- ・梅雨時期の入り丸太不足は聞こえるが、現状問題なし。従来製品の減産と新製品への移行も順調。6月に入り主力プレカットからの注文は増したが、市場、問屋を中心に引き合いが弱い。上り調子になっても盆時期で落ちてくる予想、見通しも暗い。ヒノキは堅調な引き合いと、6月から集成土台の出荷が始まり、まずは順調な滑り出し。一部在庫に偏りがある。全体的な引き合いが強いだけに課題が残る（東北）
- ・6月から増産し、7、8月は横ばい。8月は休みの関係で出荷減少見込み。6～8月にかけて製品在庫を増やす（中国）。
- ・特に生産調整はしていない。6月は若干出荷落ちる見通し。したがって6月の在庫は増（中国）。
- ・動きが鈍くなってきているが、止まっていない印象だ。適正在庫としては各メーカー未だ（KD材の）不安はあるのではないかと（九州）。
- ・生産は横ばいで普通。順調に出荷している。

(製材品出荷価格動向)

- ・トドマツサンギもう一段の値上げへ（北海道）。
- ・スギタルキ、野縁については6月より値上げでの出荷調整実施。その他は横ばい。スギ集成管柱は大手ビルダーの単価改定で弊社に大きな影響あり（東北）。
- ・引き続きスギ製材品を中心に生産。当月はヒノキの割合を抑える、出荷は一括発注では減る見通し。追加発注で前月と同程度になるか。相変わらず生産が受注に追われる形のままで在庫を持たない（中部）。
- ・スギ柱角は弱含みだが、価格の変更には至らない品目がほとんどだ。
- ・ヒノキ柱は横ばい、土台は上げ基調を予想（中国）。
- ・価格についてはスギ・ヒノキとも一部値下げの顧客もあるが、おおむね横ばいを何とか維持している（中国）。
- ・ヒノキは市場での売れ行きが悪い。売り先が製品の値下げを要望している（九州）。

30年6月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/6月	7月	8月
仕入動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・NZラジアータは仕入、消費、在庫動向とも3カ月連続横ばい推移。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	30/6月	7月	8月
米マツ丸太	—	—	—
NZラジアータ丸太	50.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・NZラジアータ丸太は強含み。

モニターからのコメント

(原木荷動)

- ・ラジアータ丸太は低調ながら横ばい。

(原木価格動向)

30年6月分

製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/6月	7月	8月
生産動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

・NZラジアータ製材品は生産、出荷、在庫動向とも3カ月連続横ばい推移。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		30/6月	7月	8月
米マツ平角		—	—	—
米マツ正角		—	—	—
米マツ小割		—	—	—
北洋エゾマツタルキ		—	—	—
北洋アカマツタルキ		—	—	—
NZ梱包材(割板)		0.0	0.0	0.0
NZ梱包材(割角)		0.0	0.0	0.0
NZ土木用材		0.0	0.0	0.0
その他		—	—	—

・NZ梱包材（割板、割角）、土木用材とも横ばい推移。

モニターからのコメント

(製材品の荷動き)

・NZマツ製材品は低調ながら横ばい。

(製材品出荷価格動向)